

# 白い歯で好感度アップ

商談などをしている際に、いやでも目につくのが相手の口元だ。

つまり、自分の口元もそれだけ見られていることになる。

年齢とともに、ますます気になってくる虫歯の治療跡や歯の色、あるいは欠け。

それらを改善しただけで、顔の印象はかなり変わる。

歯を美しく見せる審美治療はどのようなものかを聞いた。

## 白さは若さのパロメーター

歯は毎日使うものなので、年齢を重ねるにしたがってひびが入ってきたり、そのひびに着色(ステイン)が入って、歯に茶色い筋が入ってしまったりします。あるいは歯そのものが、タバコや食べ物、飲み物の色を吸収してしまい、30代から40代、50代となるにつれて、どんどん歯が黄ばんできてしまいます。笑った時に黄色い歯が見えると、無条件で年をとったように感じさせます。つまり、白い歯=若さのイメージがあるのです。また、前歯に銀歯が入っていると、その部分が暗く見えてしまうために、笑った時に歯が抜けているように見えてしまいます。歯が欠けて見えることも、歯の色と同様に年を感じさせてしまうわけです。

アメリカでは虫歯になるということは、「自分をしっかりケアできていない」「自分のコントロールができていない」という意味に捉えられます。歯並びの悪さや金属を詰めているということすら、その人に対する印象のマイナス要因になってしまうのです。そこで、いかに治療した形跡がわからないようにするかが重要になっていきました。そういうことから、歯を白く見せる審美歯科が始まったと言われてしています。

## 治療に気づかない程の自然さ

では、そのような治療する際に、どのようにアンチエイジングを意識すればよいのでしょうか。元々の歯のように自然な状態に見



える治療をすることが重要になってきます。

虫歯などの治療にあたって、耐久性があり、歯にとって親和性がよく、2次的な虫歯になりにくいと言われているのは、実は金なのですが、審美的なことを考えるとお勧めできません。昔は詰め物には銀合金(銀歯)、かぶせ物には表面がお茶碗の素材であるセラミックで、裏側が金属のものが主流でしたが、いずれも金属を使っているためその部分が目立ち、不自然に見えるのが難点でした。現在は金属を使わない治療が主流になってきています。

審美治療に使用する素材はいくつか種類があります。その中でももっとも天然歯に近く、虫歯にもなりにくく、美しさも抜群なのが、セラミックのみを使用するオールセラミック。どこが治療した歯だったのかわからなくなるくらい自然な仕上がりになります。レジンというプラスチックのような素材もあります。保険が適用されるため、セラミックに比べると各段に費用は抑えめで、前歯なら5000円程度でかぶせることが可能です。ただし、レジンを入れた瞬間はものすごくきれいですが、早い人で半年、だいたい1~2年で変色してきてしまいます。

前歯によく使われるラミネートベニアという方法は、歯の表面だけを削って、厚さ0.7ミ

リのセラミックを接着剤で貼り付けるという、つけ爪のような治療です。あくまで審美的な目的で行い、短期間できれいになり、セラミックなので長持ちしますが、セラミックがはがれる、割れるという可能性があります。

また、前歯が1本だけ変色している場合の治療も可能です。裏側の詰めた部分から過酸化水素という漂白剤になる薬を入れて、中からホワイトニングするような形で歯を白くしていきます。それでも白くならない場合は、表面を削ってオールセラミックをかぶせる治療がいいでしょう。オールセラミックの場合はかぶせ物なので、色以外にも歯の形まで自由自在に変えられ、よりきれいな歯並びに調整することができます。

## ホワイトニングで白さを保つ

ホワイトニングをしたい場合は、全体が健康な歯でなければできません。ホワイトニングだけを希望して来院する方がいますが、まずは歯の状態を調べてから、ホワイトニングが可能かどうかを診断します。その人の歯の状態によって、治療の方法も変わってくるからです。たとえば、前歯を治療する場合に、「白くしたい」という希望があれば、治



**渡部憲裕** *Norihiro Watanabe*  
医療法人社団 裕正会理事長。1992年、裕正会を設立。「Clean」「Communicative」「Creative」という3つのコンセプトを基に、現在、都内のオフィスビルを中心に7クリニックを開業。グループを含めると12クリニックを抱え、歯科の新しいスタイルを目指す。  
<http://www.yu-seikai.com/>

療する歯以外を白くしてから、その歯の色に合わせて治療していきます。基本的に歯の治療をする際には、今の歯の色でいいかどうかを確認しますので、自然と審美的な治療とホワイトニングは一緒に考えることとなります。

歯のエナメル質の表面は、実際は凹凸があります。その凹凸に食べ物などの色素が入り込んで、色がついてしまうわけです。ホワイトニングというと、脱色するようなイメージを持つ人が多いと思いますが、私たちは歯を傷めることはしたくありません。まずは、歯に入り込んだ色素を漂白剤の役割である過酸化水素を使って分解します。分解することによって、唾液と一緒に歯の

表面から色素が出やすくなります。このように歯を傷つけずに元の色に戻す方法がホワイトニングです。

黄色人種の場合、実際の歯の色は意外と黄色いものです。ですから、「白くする」といっても真っ白にすることはあり得ません。真っ白というのは審美的な視点からは不自然であって、あくまで自然な歯に見えることが大事になってきます。

方法は何種類かあります。歯科で15分の薬を2回、30分で白くできるのが、「オフィスホワイトニング」と呼ばれる方法です。これは通院1回のホワイトニングで白くなりますが、元に戻るのも早いので、メンテナンスのたびに、再度ホワイトニングをして維持す

る必要があります。自宅でできる、「ホームホワイトニング」という方法もあります。歯型に合わせた薄いマウスピースの中にジェルを入れて、2時間装着します。それを2週間続けて、少しずつホワイトニングしていきます。時間をかけて少しずつ白くしていくので、より自然に安定した白さを持続できます。気軽に短時間で白くしたいなら「オフィスホワイトニング」、予算を抑えたい、継続してホワイトニングしたいなら「ホームホワイトニング」をお勧めします。

このように、裕正会では治療する歯だけではなく、歯全体のことを考えながら、美しく機能的に治していきたいと考えています。

## Information

### 東京オペラシティ歯科

患者との治療前コミュニケーションを重視。インプラント治療にも力を入れている。



東京・初台にある複合文化施設、東京オペラシティ内にある



診療内容により、個室タイプの診療スペースが使い分けられている



東京オペラシティ歯科の石井宏明院長

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー7F  
TEL 03-5353-0418  
診療時間 9:30~13:00, 14:00~18:30  
休診日 土、日、祝日  
<http://www.opera-dc.com/>